

2022年4月11日

報道機関各位

公益社団法人 京都勤労者学園
学園長 杉山雅人
(公印省略)

「勤労者の学習に関するアンケート調査」結果報告書冊子の送付について

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は京都勤労者学園の運営に御協力をいただき御礼申し上げます。

さて、本学園では、毎年京都府の援助を受けて、連合京都・京都総評をはじめとした府内の労働組合・労働団体所属の勤労者を対象に勤労者の状態及び意識調査を実施しております。

今回の調査は、本学園が約10年毎に実施している「勤労者の学習」をテーマにしたもので、勤労者の学習や習い事に対する意識やニーズを定点観察的に明らかにしようとしたものです。本冊子は、その結果をまとめたものであり、労働組合・労働関係団体のほか、企業や行政機関などでもご活用いただければ幸いです。

なお、集計・分析及び監修は、NPO法人京都社会労働問題研究所の協力をいただいています。

調査結果の概要

- 勤労者の余暇及び学習に関する行動や意識には、コロナ禍、特に外出自粛の影響が顕著に現れている。
- 最も行われている学習・習い事は「健康・運動系」で4割を占める。
- オンライン学習に興味がある勤労者は多いが、否定派も一定数存在する。
- 勤労者が最も関心を持っている学習テーマは「PC・IT技術」「語学」である。
- 勤労者の学習意欲は、これまでの調査と同様、高く維持されている。

1. 調査対象:

京都府内に就労先を持つ労働組合員（回答者2,270人中 男性1,832人、女性378人）

2. 休日と自由時間の状況

週休二日以上が9割で、前回2011年調査時よりも休日日数が増えている。自由時間の過ごし方は、第1位「テレビやインターネットなどの視聴」第2位「リラックス、寝る、休息する」第3位「子供の相手など家族の団らん」である。前回2011年調査時に比べ「自宅での過ごし」の割合が多く、外出を伴うほとんどの行動が減っている。コロナ禍の影響と推察できる。

3. どのような学習や習い事をしているか

学習や習い事をしている人は14.7%にとどまっている。業種別でみると「教育・学習」の場合に43.6%と突出している。学習や習い事の内訳では、「スポーツジム、テニス、登山等健康・運動系」が男女とも最も多く、4割を占めている。男性で「免許、資格の取得」女性で「語学」がそれに次いでいる。

4. コロナ禍・「外出自粛」の影響

学習や習い事が「家での独学」となる場合が半数近くを占めている。前回2011年調査時に比べ非常に多くなっていることが注目される。そのほかの習い事も自宅が多い。コロナ禍による外出自粛の影響が大きい、と推察できる。

5. オンライン学習の利用

オンライン学習の利用を期待する人も3割近くで、多くなっている。しかし、オンライン否定派も4割を占めている。

6. 今後の学習希望について

4割近くが学習や習い事の新規、及び継続を希望しているが、そうは「思わない・したくない」も25%を占めている。

7. 学習したい動機

「自分磨き」とする例が多い。

8. 学んでみたいテーマ

「PC・IT技術」と「語学」が多い。

9. 学習・習い事に出費できる金額

「1万円まで」が26%ともっとも多く、「ほとんどない」も20.7%と多い。

10. 職業・仕事と学習の関係

「現在の職業・仕事に」かかわって「自己研鑽の必要性を感じるか」について、「常に感じる」「時々感じる」を合わせ63.2%である。特に20代で70.9%に達した。「将来に向けて」の「感じる」は70%近くで、20代、30代でその思いが強い。

11. 学習・習い事への意欲

「是非したい」、「条件を整えたい」で男性64.1%、女性70.9%と非常に高率である。